



／特集／

「次世代のリーダー」を育てるボランティアグループ ジュニアリーダークラブ

生涯学習課生涯学習係 ☎ 0943-32-0093

8月7～9日の3日間、子ども会リーダー研修会が開かれました。町内の小学5年生が少年自然の家で2泊3日の宿泊研修に挑む恒例行事で、研修を支えるのは、中学生・高校生・社会人のボランティアです。

今回の特集では、小学生の班長を務める中学生ボランティア「ジュニアリーダー」に焦点を当て、リーダー研修の内容や役割、年間の行事などを紹介します。

リーダー研修とは？

町内の小学5年生が少年自然の家で2泊3日を過ごし、川体験やレクリエーションなどの活動を通して集団生活を学びます。今年で44回目を迎える、町の恒例行事です。

この研修を支えているのが、3つの世代のリーダーたちです。小学生の班をまとめる班長役は、中学生のボランティアグループ「ジュニアリーダー」が担います。班員のように気を配り、お手本として小学生たちをまとめます。研

修全体のプログラムを企画・運営するのが、高校生の「シニアリーダー」です。数カ月前から会議を重ね、当日の運営も行います。さらに、社会人ボランティア「推進部」が全体を見守ります。

注目すべきは、この役割が受け継がれているということ。小学生として参加した子が、数年後にはジュニアリーダーとして班長を務め、やがてシニアリーダーとして企画側に立つ。そして、推進部として子どもたちの成長を支えていきます。約半世紀にわたり、このバトンは途切れることなく渡されてきました。世代を超えた関わりの中で、時間をかけて広川町の未来のリーダーを育てる。それがリーダー研修です。



密着！リーダー研修 3 日間の流れ

DAY
1

ドキドキの出会いからスタート！
まずは仲間になろう。



アイスブレイク・応急救護講座



リーダー研修スタート！まずはレクリエーションで楽しく自己紹介。その後、応急救護講座で八女消防署員からけがや体調不良、緊急時の対応を学びました。

スポーツレクリエーション



ドッジボールとペットボトルを使った遊びで、体を動かしながら小学生との距離を縮めます。ヒートアップした小学生を落ち着かせるのも中学生の役目です。

試胆会（きもだめし）



高校生と大人がオバケ役として隠れる暗闇のコースを班ごとに進みます。怖がる小学生を励ましながらゴールを目指す中学生。頼れるリーダーとして先導していきます。

DAY
2

仲間と力を合わせて挑戦。
自然の中で思い切り遊ぼう！



ミニゲーム大会



頭を使うクイズから、チームワークを試すレクリエーションまで、幅広い種目で競い合い、優勝を目指します。見事優勝したチームには景品もありました。

川体験



中学生と一緒に遊びながら、安全を守る役割を担います。河原で「しあわせの石」や水辺の生き物を探す子どもたち。めったに触れない自然に大はしゃぎでした。

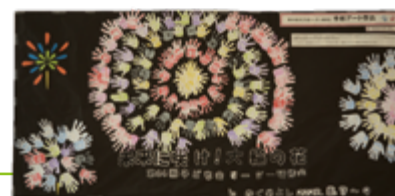
キャンドルのつどい



2日間を振り返りながらみんなでキャンドルの火を眺め、レクリエーションを行いました。その後、研修の思い出を発表して盛り上がりました。

DAY
3

学んだことを次に生かす。
教える側になって見えたもの。



クラフト体験



中学生が指導者となり、キーホルダーと手形アートを作成しました。革に絵を描いてストラップを付ければ、リーダー研修の思い出の完成です。

卒部式



広川町に戻り、町民交流センター「いこっと」で3年生の卒部式を行いました。ジュニアリーダーで学んできたことを踏まえて、これからの目標を一人ずつ発表。「来年はシニアリーダーになる」と話す子もいました。後輩の成長に思わず涙を浮かべる高校生の姿もありました。

中学生と高校生が大活躍！

つなぐ、ひろがる、未来のリーダー

ジュニアリーダークラブって何？

広川町在住の中学生によるボランティアグループです。

「誰かの役に立ちたい」という思いで

**「あなたのすきなときに あなたのすきなことで
あなたのちからを発揮できるクラブ」**

をモットーに活動しています。

部活動や塾で忙しい生徒も気軽に参加できる環境が魅力です。
募金活動をはじめ、自分たちに何ができるかを考え、行動しています。

小学5年生のときにリーダー研修を経験した子も参加していますが、中学生から活動を始めた子も多いです。

地域の未来をつくる
若い力が集まっています！



ジュニアリーダークラブは

現在 **42人** 在籍

リーダーとしての自覚を持ち、仲間と共に成長します！

中学生ジュニアリーダーの役割

現場を動かす

中学生は班の班長・副班長を務めます。高校生から届いた指示を、小学生に分かりやすく伝えるのが主な役目です。「次は何をするの？」という問いに答え、班を次の行動へ導く大切な役割を担います。求められるのは、言葉で伝えることだけではありません。集合時間を守る、あいさつをする、率先して片付けをする。小学生がまねしたくなるお手本であることが、班をまとめる力になります。団体行動の要は、この中学生たちなのです。

高校生シニアリーダーの役割

全体をつくる

リーダー研修3日間のプログラムを組み立てるのは高校生です。どんなレクリエーションなら全員が楽しめるか、時間配分に無理はないかなど、数カ月前から会議を重ね、当日の流れを形にしていきます。本番では全体を見渡しながらか指示を出し、進行を調整。予定どおりに進まない場面では、その場で判断し、研修が滞らないようにかじを取ります。

仲間と過ごす時間や経験が、きっと一生の宝物になる。

ジュニアリーダーの1年間

学び、出会い、挑戦する。ジュニアリーダーの活動は、たくさんの経験であふれています。

4月 任命式・JL 会議



先輩部員と新入部員の初顔合わせ。自己紹介で中学1年生は入部の動機、2・3年生はジュニアリーダーの良いところを話します。第1回のJL会議では、みんなの意見で1年間のおおまかな活動の内容を決定します。

6月 ハコボックス



まちこのおにわで開催される親子の遊び場「ハコボックス」で募金活動しながら、工作やゲームコーナーを開くなど、運営スタッフとして大人のボランティアと同じ立場で携わり、責任感ややりがいを培います。

3世代リーダー交流会



ジュニアリーダー・シニアリーダー・推進部の交流会です。学習会や昼食作り、レクリエーションで盛り上がります。ここでは一番年下なので、甘えたり、教えてもらったり、相談したりできる貴重な機会です。

7月 水園地



ハコボックスの水遊び拡大版です。水遊びの極意は思いっきり濡れること！ずぶ濡れ覚悟で率先して子どもたちと楽しむ、毎年大人気のイベントです。

8月 リーダー研修



シニアリーダーが企画運営する、小学5年生対象の宿泊研修です。小学生班の班長として、コミュニケーションを図りながら円滑な運営を助けます。

10月 広川まつり・人権フェスタ



募金活動を目的に、会場で物販ブースを運営します。募金先は年度初めの会議で決めます。地震や大雨災害の義援金が、最近の主な送り先です。会場では、パネルなどで活動のPRも行っています。

11月 ハロウィンナイト



広川町の子どもと保護者がハロウィンを楽しむイベントです。ハコボックスで培ったコミュニケーション力や創作力、対応力を発揮し、楽しく運営します。

3月 春の合同研修



ジュニアリーダー・シニアリーダー・推進部の合同宿泊研修です。リーダー研修での立ち回りを学びます。先輩たちの動きを参加者の立場で体験し、来年に生かします。1年間活動した仲間との絆もバッチリです。

・ハコボックスは、6月のほかに9月と3月にも同内容で開催しています。

・中学3年生の部員は、卒部後に3年間のボランティア活動の全記録を中学校へ送っています。

**たくさんの経験が
きっと未来につながる**

次の世代にバトンをつなぐ。 支える人がいるから、次のリーダーが育つ。

リーダー研修を支える3つの世代に、
活動への思いやりがい、そして未来へのメッセージを聞きました。

ジュニアリーダー（中学生）



リーダー性を磨けるクラブなので、積極的に参加することで自分に自信がもてるようになります。

石川紗香さん 中学3年生

Q. ジュニアリーダーになったきっかけは？

小学5年生の時にリーダー研修に参加し、入りたいと思ったのがきっかけです。

Q. 入ってみてよかったこと、楽しかったことは？

恋バナをしたり、好きなアーティストの話をしたり、幅広い世代の人と仲良くなれることが楽しいです。

Q. やってよかったことは？

ジュニアリーダーから推進部まで仲が良い集まりなので、みんなでひとつになり、情報を共有しながらリーダー研修を企画したかったです。

Q. 今後やってみたいことは？

シニアリーダーになり、学業や部活と両立しながら、今までの経験を生かして活動を続けたいです。周りに気を配れる人になりたいと思います。

次の世代へのメッセージ

リーダー性を磨けるクラブなので、積極的に参加することで自分に自信がもてるようになります。リーダー研修は、多くの人の支えがあり50年近く続いているそうです。周りの人たちへの感謝の気持ちを持って、楽しみながら頑張ってください！

ジュニアリーダー（中学生）



世代の異なるさまざまな人と関わることで、一人の役に立っている「ことを実感できます」。

岩崎咲花さん 中学3年生

Q. ジュニアリーダーになったきっかけは？

小学生の時、学校から配られた募集案内を見て、人前に立つのが好きな私は楽しそうだなと思いました。

Q. 入ってみてよかったこと、楽しかったことは？

学校で話せない先輩や後輩と楽しく話すことができました。そのほか、イベントに出店して人が喜ぶ姿を見ることができて良かったです。

Q. やってよかったことは？

活動内容の企画会議があるのですが、もう少し自分たちで考えた企画を増やせたら良かったなと思いました。

Q. 今後やってみたいことは？

シニアリーダーになりたいと思っています。リーダー性が身についたので、高校生になったら人前に立ち、何かできるようになりたいです。

次の世代へのメッセージ

「できる時にできる人がしよう」というクラブのため、参加しやすいです。無理をせずに、学業や部活と両立しながら参加できます。先輩や後輩と仲良くなれ、さまざまなイベントに参加することで多くの人と関わることはできました。友達などを誘い、入部してください！

シニアリーダー（高校生）



坪田侑透さん 高校2年生

クラブでの活動を通じて、かっこいい先輩たちや広川町の素敵なところにかくさん出会えました。

Q. シニアリーダーになったきっかけは？

ジュニアリーダー時代から、先輩のかっこいい姿を見てきました。その先輩たちに憧れ、広川町をもっと良い町にしたいと思い入りました。

Q. ジュニアリーダーの時との違いは？

人に指示することが苦手でしたが、先輩たちから学び、克服できました。今では「自分是可以する」という自信がつきました。

Q. 今年のリーダー研修でのジュニアリーダーの動きはどうでしたか？

積極的に動き、分からないことなどは自主的に聞きに来てくれました。来年も小学生と仲良く、いい思い出にしてくれることでしょう！

次の世代へのメッセージ

ジュニアリーダーも「十人十色」です。さまざまな考え方をもち、それぞれ特性も異なります。だからこそみんなで協力して、たくさんの活動を頑張ってほしいです。困ったときはいつでもシニアリーダーを頼ってください。一緒に広川町を盛り上げていきましょう！

推進部（大人）



鹿島弘貴さん 推進部部长

ジュニア・シニア・推進部での経験が、各ライフステージで役に立っていると実感できます。

Q. 推進部に入ったきっかけは？

ジュニアリーダー、シニアリーダーとして活動に参加する中で、お世話になった先輩たちのように自分もなりたいと思い、推進部に入りました。

Q. ジュニアリーダーから今までの経験が役に立ったと感じたことはありますか？

人前に立ち、自分の意見をしっかり発信できるようになりました。推進部では、人に教え、人をまとめることなどを学びました

Q. これからのジュニアリーダーに期待することは？

まずは自分がやりたいことを発信できるようになってほしいと思います。そしてそれを実現させるまでの過程を学んでほしいです。

次の世代へのメッセージ

自分の思いが周りを巻き込んで形になり、「こんなことが自分是可以するんだ」という自信を身につけてほしいです。主体性をもってチャレンジする精神を養うことで、私生活や学校生活にも生きてきます。ジュニア・シニア・推進部で積んだ経験は、社会に出てからも役立ちます。

世代の異なる4人に同じ質問をしました

「ジュニアリーダークラブ」や「リーダー研修」はどんな場所だと思いますか？

石川紗香さん

「喜怒哀楽を共有できる場所です。卒部するのが名残惜しい！」

岩崎咲花さん

「一人ひとりが活躍できる場所です。楽しいクラブなので、ぜひ入部してください！」

坪田侑透さん

「世代を超えるリーダーのサイクルがある場所であり、広川町の未来そのものです」

鹿島弘貴さん

「生涯代え難い経験を得られる熱い場所であり、今までにない環境の中で楽しく学べ、成長が感じられる場所です」